

皆さんこんにちは、模擬店部会長の杉山です。  
ふっさ七夕祭り、市民模擬店の説明会にお越し頂きまして、大変ご苦勞様です。

挨拶の代わりに、七夕市民模擬店の経緯をすこしお話ししたいと思います。

七夕の市民模擬店は、平成4年にはじまりました。  
市民模擬店は22年目ということになります。

始まることになったきっかけは、この年の3月1日に施行されました通称「暴力団対策法」の実施によるものです。それまでは、「露天商」による出店がこの栄通りに出ておりました。

この露天商から暴力団に流れる資金を絶つということで、露天商には道路使用許可は出さないとの福生警察署の強いお考えで、市民模擬店がはじまりました。

そして、10年目の平成14年には、暴力団組員による模擬店出店が堂々と警察の目の前で出店される事態になりました。そのときに出店が隣になった市民や多くの理性ある模擬店出店者たちが実行委員会に抗議をしました。  
こういう行動が出来る市民が育ったんだと、とても力強く感じました。

毎年課題が出るたびに、試行錯誤の中でいろんなルールを決めて運営してきました。しかし、ふりかえてみると、毎年100店舗近い皆さんに参加して頂いている市民模擬店のうち、7店舗か8店舗の皆さんがルールを守っていただけない事が多々あります。そのために七夕市民模擬店を盛り上げていただいている多くの皆さんにはルールが複雑になったりしてきていました。

そこで、今年は、新しいルールを取り入れて、約束を守っていただいている皆さんには楽しんで七夕を盛り上げていただけるようにしました。  
あとで新ルールについては説明がありますが、簡単に説明すると、イエローカードとレッドカードを発行して、レッドカードは退場、次回は遠慮していただくというものです。  
あくまでも、約束を守っていただけない方に対して、最後の手段です。  
よろしくお話ししたいと思います。

私たち福生の七夕市民模擬店は、出店参加して頂く市民である、みなさんお一人お一人の主体的な関わりをととても期待しております。  
ことしも、七夕祭りに訪れる観光客に、喜んで、楽しんでいただける、市民模擬店を創っていただきますようお願い申し上げます。

全国的に見ましても、市民模擬店が祭りを支えているというケースはとてもまれです。  
私たちは、22年目のこの市民模擬店をさらに大きく発展させたいと願っております。

それから、継続しています看板コンテストもルールを見直して、今年も実施します。

詳細は、事務局が説明致しますが、上位入賞者は、本日出店場所の抽選が行われますが、来年の出店際、抽選を免除して、優先出店の権利が得られるということになっておりますが、出店の際の優先ペア出店はなくなりまして、入賞者のみということにしました。

皆さんのパワーとご協力で、七夕まつりを盛り上げて頂きたいと思います。

以上で終わります。